

決定！グッド・トイ 2019

全国の遊びの専門家に選ばれた45点が受賞

東京おもちゃ美術館を運営する認定 NPO 法人 芸術と遊び創造協会（東京都新宿区）が毎年行っている「グッド・トイ」選考活動において、2019年の受賞おもちゃが決定。5月25日に同館にて授賞式が行われ、45点が発表されました。受賞者・参加者あわせて180名が集まり、受賞を祝いました。



グッド・トイは、親や祖父母がおもちゃを選ぶ際の目安をつくろうと、認定 NPO 法人芸術と遊び創造協会が実施している、おもちゃの受賞制度で、今年で34年目となります。受賞したおもちゃは、「東京おもちゃ美術館」の専用展示室のほか、各地への巡回展、秋田・山口の姉妹館での展示など、全国各地で多くの親子が手に触れ遊ぶ機会が作られます。



東京おもちゃ美術館のグッド・トイ専用展示室

「グッド・Toy大賞」「林野庁長官賞」も発表！ ロングセラーおもちゃが支持を集める

また、同授賞式では、国産の木材を最も有効に活用しているおもちゃに贈られる「林野庁長官賞」、最も多くの支持を集めた「グッド・Toy大賞」も発表されました。

「林野庁長官賞」を受賞したのは、“おうちごっこ”（寺内定夫の木のおもちゃ てのひらえほん）です。発売から40年以上にわたり、国産のセンの木を使って職人の手によってにつくり続けられています。ドア・窓・壁の3つを自由に配置して、自分だけの遊びの空間をつくることができ、想像力次第で無限の広がりを生むおもちゃです。

「グッド・Toy大賞」に輝いたのは、“アーチレインボー”（グリムス・シュピール社／株式会社ブラザー・ジョルダン社）です。表面が滑りにくいハンの木でつくられていて、積みやすくフェルトのようなあたたかい感触を持つ積み木です。約10年前から販売され、玉の道にする、シーソーにするなど遊びの発展性があることが支持を集めました。



おうちごっこ



アーチレインボー

2019年の受賞おもちゃ45点は東京おもちゃ美術館での展示も開始。見ることはもちろん、来場者が自由に手に取って遊ぶことができます。

<グッド・Toyとは>

1985年より認定NPO法人芸術と遊び創造協会が実施しています。国内で販売されているおもちゃのなかから、遊びの専門家「おもちゃコンサルタント」の投票によって贈られる受賞制度。受賞すると、グッド・Toyマーク(右図)をパッケージにつけられるほか、同NPOが様々な場所で紹介をしています。毎年20～60点のおもちゃが受賞をしています。制度や他の受賞おもちゃについては、Webサイト「GOOD TOY Awards」(<http://goodtoy.jp/>)をご覧ください。



GOOD TOY

【本件に関するお問合せ】 認定NPO 法人芸術と遊び創造協会／東京おもちゃ美術館

東京都新宿区四谷 4-20 四谷ひろば内

TEL:03-5367-9601 FAX:03-5367-9602 E-mail:info@goodtoy.jp 担当:黒澤